

2016年12月

日本の在庫管理とSCMの活用性

情報学部 経営情報学科 志村ゼミ
B3P21073 新福 萌

【卒業論文概要】

企業は、赤字や黒字に関わらず倒産している。また、2012年～2015年の間で倒産した日本企業の黒字倒産率は、年々上昇している。黒字倒産の原因としては、過剰在庫が挙げられる。これは、お客様がいつ来店しても商品を買って頂けるように在庫として保管しておくことで生じる。しかし、在庫がなく、お客様が他社の店舗やインターネットで買ってしまふとせっかく売れる在庫を見逃すことになってしまう。そこで、過剰在庫を減らし、お客様が求める売れる在庫を管理する必要がある。本論では、黒字倒産率を減らすために過剰在庫を減らし、売れる商品売るための効率の良い在庫管理について考えていく。そのためにまずは、確実にロジスティクスを構築することについて考える。次に、効率の良い在庫管理をするために、他社と連携をしてロジスティクスを構築するSCMについて考える。また、実際の企業がSCMを活用できているのかについて考える。そして、日本企業の黒字倒産率を減らし、黒字企業を増やすために、SCMを活用した効率の良い在庫管理について考察する。